

公表

事業所における自己評価総括表(児童発達支援)

| | | | |
|----------------|-----------------------------|-----------|----|
| ○事業所名 | 児童発達支援・放課後等デイサービスねいろ | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2026年 3月 20日 ~ 2026年 4月 30日 | | |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 16 (回答者数) | 13 |
| ○従業者評価実施期間 | 2026年 3月 20日 ~ 2026年 4月 30日 | | |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 8 (回答者数) | 8 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年 4月 27日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|--|---|
| 1 | お子様にとっての最善の利益を第一に寄り添った支援をしている | 始業、終業のミーティングなどで確認し、 取り組み方の共有をして対応の一本化を行っている | 定期的なイベント、企画をし、よりお子様と保護者様が楽しめるよ うな 場所にしていく |
| 2 | SNSなどを活用し、行事の様子や参加したお子様の様子を発信している | stagramやyoutubeを活用し、保護者様に活動内容を共有している | 継続していき、見ていない方へも 興味を持っていただくように働きかける |
| 3 | 保護者様からのご要望があったときには迅速に対応し、 短期間での改善をしている | 迅速な情報共有と課題解決に向けた話し合いを細かくしている | 継続していき、些細なことも見逃さないようにする |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|-------------------------|----------------------|
| 1 | 地域交流に乏しい | 地域で開催されているイベントなどに参加していく | 地域への関心を高めていく |
| 2 | | | |
| 3 | | | |

公表 等からの事業所評価の集計結果(児童発達支援)

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービスねいろ

公表日 年 月 日

利用児童数 5

回収数 4

| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|-------------------------------------|------------------------------------|----|---------------|-----|-------|-----|------------|
| 環境・ 体制整備 | 1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 4 | | | | | |
| | 2 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 4 | | | | | |
| | 3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 | 4 | | | | | |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか | 4 | | | | | |
| 適切な 支援の提供 | 5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支 | 4 | | | | | |
| | 6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容 | 4 | | | | | |
| | 7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に | 4 | | | | | |
| | 8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援 | 4 | | | | | |
| | 9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 4 | | | | | |
| | 10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思 | 4 | | | | | |
| | 11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこ | 1 | | | 3 | | |
| | 12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等に | 4 | | | | | |
| 13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか | 4 | | | | | | |
| 14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニ | 3 | | | 1 | | | |
| 15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状 | 4 | | | | | | |
| 16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 3 | 1 | | | | | |

| | | | | | | | | |
|----------|----|----------------------------------|---|---|--|---|--|--|
| 保護者への説明等 | 17 | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 4 | | | | | |
| | 18 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の | 4 | | | | | |
| | 19 | 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されて | 4 | | | | | |
| | 20 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされてい | 4 | | | | | |
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡 | 4 | | | | | |
| | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 3 | | | 1 | | |
| | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニユ | 2 | 1 | | 1 | | |
| 非常時等の対応 | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要 | 2 | 1 | | 1 | | |
| | 25 | 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等 | 3 | | | 1 | | |
| | 26 | 事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や | 3 | | | 1 | | |
| | 27 | 子どもは安心感をもって通所していますか。 | 4 | | | | | |
| 満足度 | 28 | 子どもは通所を楽しみにしていますか。 | 4 | | | | | |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 4 | | | | | |

公表 所における自己評価結果(児童発達支援)

| 事業所名 | | 児童発達支援・放課後等デイサービスねいの森 | | | | 公表日 | 年 | 月 | 日 |
|---------|--------|---|-----|---------|-----------|-------------------------------|---|---|---|
| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | | | | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 7 | 1 | | ・人数が多い時は狭いと感じる。 | | | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 6 | 2 | | ・人手不足に感じる時がある。 現在は良くて今後が…。 | | | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。 | 8 | | | | | | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもが安心して過ごせる環境になっているか。 | 8 | | | | | | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められているか。 | 8 | | | | | | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に取り組んでいるか。 | 8 | | | | | | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けているか。 | 8 | | | | | | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 8 | | | | | | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 5 | 3 | | | | | |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内研修を行っているか。 | 8 | | | | | | |
| 適切な | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 8 | | | | | | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者の関係性を構築しているか。 | 8 | | | | | | |
| | 13 | 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者の承認を得ているか。 | 8 | | | | | | |
| | 14 | 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 8 | | | | | | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォローアップを行っているか。 | 6 | 2 | | | | | |
| | 16 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援計画の作成と実施」が反映されているか。 | 8 | | | | | | |

| | | | | | | |
|--------------|----|--|---|---|-----------------------|--|
| 支援の提供 | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 8 | | ・朝礼での簡単なミーティングを行っている。 | |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 8 | | ・担当者を日替わりに行っている。 | |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ | 8 | | | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支 | 8 | | | |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた | 8 | | ・終礼での報連相にて共有を行っている。 | |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善 | 8 | | | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要 | 8 | | | |
| 関係機関や保護者との連携 | 24 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との | 8 | | | |
| | 25 | 地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育 | 6 | 2 | | |
| | 26 | 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進 | 7 | 1 | | |
| | 27 | 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間 | 6 | 2 | | |
| | 28 | (28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等 | | | | |
| | 29 | 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。 | | | | |
| | 30 | (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。 | | | | |
| | 31 | (31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてス | 5 | 3 | | |
| | 32 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこ | 1 | 7 | | |
| | 33 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況 | 8 | | | |

| | | | | | | |
|----------|------------------------------|--------------------------------|---|---|--|-------------------------------------|
| | 34 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プ | 5 | 3 | | |
| 保護者への説明等 | 35 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を | 8 | | | |
| | 36 | 児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の | 8 | | | |
| | 37 | 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護 | 8 | | | |
| | 38 | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に | 8 | | | |
| | 39 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等に | 8 | | | ・クリスマス会などのイベント(行事)への招待(家族参加)を行っている。 |
| | 40 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整 | 8 | | | |
| | 41 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用すること | 8 | | | |
| | 42 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 8 | | | |
| | 43 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための | 8 | | | |
| | 44 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運 | 2 | 6 | | |
| 非常時等の対応 | 45 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、 | 8 | | | |
| | 46 | 業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備 | 8 | | | |
| | 47 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確 | 8 | | | |
| | 48 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく | 8 | | | ・現在、在籍はないが契約時に確認を行っている。 |
| | 49 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要 | 8 | | | |
| | 50 | 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安 | 8 | | | |
| | 51 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策につ | 8 | | | |
| 52 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対 | 8 | | | | |

| | | | | | |
|----|-------------------------------|---|--|--|--|
| 53 | 虐待防止委員会及び身体拘束適正化検討委員会を定期的に関 | 8 | | | |
| 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的 | 8 | | | |